

題材 「優先席ってどんな席？」 1 時間中の第 1 時

(1) 学習のねらい

日常的に電車を見たり利用したりしている子どもたちが、優先席に座っている元気そうな人の写真を見て優先席の役割を考えることを通して、疾病や障害は必ずしも目に見えるものだけではないことに気づき、優先席を必要とする人への思いやりの心を育むとともに自分を含めた電車利用者全員が気持ちよく電車を利用できる方法を考えることができる。

(2) 本時の学習材

優先席に座る元気そうな人の写真

- 子どもたちは優先席の役割について考える中で、優先席はケガをしている人や妊婦さんなど明らかに困っている人が利用する席だと考えるだろう。そのような意識を捉えたところで本学習材を提示する。
- 本学習材は優先席に座る元気そうな人の写真である。優先席に座る元気そうな人の写真を見た子どもたちは、さらに本当に写真の人が困っている人なのかどうかを考えるだろう。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握 展開 終末	1. 優先席の存在 ・役割・共通認識の確認	・電車で見たことがある ・お腹に赤ちゃんがいる人とか怪我している人が座る席だよ <div>【学習問題】優先席ってどんな席？</div>		・実際に長野電鉄で使用されている優先席のマークを拡大して提示し、優先席に関する子どもたちの認識を確認し、優先席の利用状況の事態を把握する。 ・実際に撮影した優先席に座っている人の写真を提示する。
	2. 優先席の利用状況の確認	・いつも立って乗っているよ ・普通の席なら座るけど、優先席は座らない		<div>【学習材】優先席に座る元気そうな人の写真</div>
	【学習課題】写真の優先席に座っている人たちは困っている人なのだろうか？			・学習材を提示し、現実に優先席を利用している写真の人々が本当に困っている人なのかどうかを考える。 ・目で見てわかる疾病や障害がある反面、見ただけではわからないものもあることに気づかせる。 ・優先席＝困っている人の席だとした時に、困っている人をどう見分けるのかという難しさに触れる。
	3. 写真の優先席に座っている人は困っている人？困っていない人？	・何もケガしてないし元気そうだよ ・もしかしたら風邪を引いているかもしれないし、突き指とかしているかもしれない ・優先席に座るほどの病気があるようには見えないよ		
	4. 困っている人かどうかをどうやって見分けるの？	・この写真だと元気そうだし、体もなにもなさそうだ ・もしかしたら具合が悪いかもしれないけど、元気な人の可能性もある ・本当に具合悪そうな人が来たら譲るのかもしれない		
	5. 優先席に座っていい「困っている」って？	・ケガとかしているときなら座ってもいいと思う。 ・「疲れている」とか「座りたい」は「困っている」とは言わないと思う		<div>【評価】電車を利用する可能性がある色々な立場の人の状況に目を向け、優先席の在り方について考えようとしている。</div>